

マレーシアLNG社とのLNG売買契約の締結について

平成28年12月7日
北陸電力株式会社

昨日(12月6日)、当社はマレーシアLNG社とマレーシア・クアラルンプールにおいてLNG売買契約を締結しましたのでお知らせいたします。

当社は、平成30(2018)年11月の富山新港火力発電所LNG1号機の運転開始に向け、マレーシアLNG社と昨年5月5日にLNG調達に関する基本合意書に調印しました。
(平成27年5月7日お知らせ済み)

このたび詳細条件について合意し、昨日(12月6日)、マレーシア・クアラルンプールにおいてLNG売買契約を締結しました。

当社は、環境特性に優れたLNG火力発電の導入により、電力の安定供給および低炭素社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

[LNG売買契約書の概要]

売主：マレーシアLNG社
買主：北陸電力株式会社
契約期間：平成30年3月から平成40年3月まで
契約数量：最大6隻/年(約38万トン)
受渡条件：本船着棧渡し(DES)

<参考> マレーシアLNG社概要

会社名：Malaysia LNG Sdn. Bhd.
設立：1978年
所在地：マレーシア サラワク州ビンツル
株主：ペトロナス社(マレーシア国営石油) 90%
サラワク州政府(マレーシア) 5%
三菱商事株式会社 5%

以上

別紙：富山新港火力発電所LNG1号機建設工事の概要

富山新港火力発電所LNG 1号機建設工事の概要

< LNG 1号機設備概要 >

| | | | |
|---------|--------------------------|------------------------|--|
| 所在地 | 富山新港火力発電所（富山県射水市堀江千石1番地） | | |
| LNG発電設備 | 発電出力 | 42.47万kW × 1基 | |
| | 発電方式 | コンバインドサイクル発電 | |
| | 発電端熱効率 | 約59%（低位発熱量基準） | |
| LNG燃料設備 | タンク容量 | 18万m ³ × 1基 | |
| | タンク型式 | プレストレストコンクリート地上式 | |
| | 気化器形式 | オープンラック式（海水加温） | |
| LNGバース | 受入船クラス | 15万m ³ 級 | |
| | バース型式 | 杭式ドルフィン | |
| 建設工事着工 | 平成27年 3月13日 | | |
| 運転開始時期 | 平成30年11月（予定） | | |

< 工事工程 >

| 年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|-----------|-----------------|-----------------|--------|--------|-----------------|
| 全体工程 | 準備工事開始 10月1日 | 建設工事着工 3月13日 | | | 運転開始 11月（予定） |
| LNG発電設備工事 | | [工事期間] | | | |
| LNG燃料設備工事 | | [工事期間] | | | |
| LNGバース工事 | | [工事期間] | | | |

※富山新港火力発電所石炭1号機廃止：平成29年度（予定）、
富山新港火力発電所2号機燃焼装置改造：平成30年度（予定）

< 主要設備配置 >

